

ひまわり組だより

No10



平成30年1月4日
尚徳福祉会 馬橋保育園

12月の生活発表会で、歌や楽器演奏と初めての劇を経験した子どもたち。恥ずかしいながらも、みんなの前で表現する喜びを存分に味わい、普段のあそびの中でも歌ったり打楽器を鳴らしながら踊ったりする姿が見られるようになりました。暗くなるまでサッカーや砂あそびを楽しんだあと、「園庭の片付けが終わったらリレーしようよ」と、さらにエネルギーに走り回る一面も見られます。

今月はコマ回しや羽根つき、凧あげなどの伝承あそびに挑戦したり、自分たちでカルタやすごろくを作りながら文字や数字に親しめる機会も増やしていく予定です。

そして卒園まで残すところ3か月。子どもたちは早くも「小学校に行くの楽しみ過ぎる！」と未来に向かって希望を膨らませています。そんなひまわり組さんと一日一日を大切に、「きょうも楽しかったね」とみんなが感じられる活動を心がけていきたいと思います。

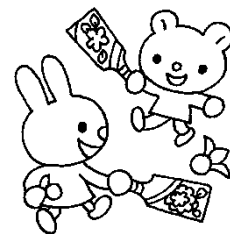


今月のねらい

- 自分なりの目当てに向かって挑戦し、達成感や充実感を味わう。
- 自分の考えを出し友だちの考えにも耳を傾けながら、協力してあそびを進める楽しさを味わう。
- 霜柱や氷などの冬の自然に触れ、気づいたことを伝え合ったり調べたり、あそびに取り入れていく。

今月の予定

- 10日(水) 新年こども会
- 16日(火) お話し会
- 18日(木) 身体測定
- 26日(金) 避難訓練



ふかふかベッドがみんなの島に大変身！

善福寺緑地公園で落ち葉を拾い集めてベッドを作り、寝転がってあそんだ子どもたち。翌日の園庭では、それを再現しようと砂場にこんもりとした山を作っていました。ところがその形がだんだん島に見えてきて「これは僕らの島にしよう！」と変更されました。「島には木がいるよね」と小枝や葉っぱを拾ってきては砂に立てたり埋めたり。友だち同士イメージを共有し、時にはその変化も楽しみながら夢中になってあそぶ姿が印象的でした。

ビーズで飾ってオリジナル羽子板を作っちゃった

羽子板の形に切り抜いた段ボールを用意すると「あっ、これ羽子板でしょ？ 私も作りたい！」と子どもたちが寄ってきました。マスキングテープで飾ったり、マーカーで絵を描いているうちに「松ぼっくりのツリー作りで使ったビーズは残ってる？ あれを貼ったらかわいいんじゃないかな？」と言い出して、早速ボンドで貼り付け始めました。一度使ったことのある材料を、自由工作にも取り入れたいと発想する力に成長を感じました。